

NPO法人アクションポート横浜 学生チーム

見本例

学校名：明治学院大、神奈川大、フェリス女学院大、青山学院大 等

メンバーの人数：11名

設立年：2015年9月

活動場所/対象地域：横浜市内

活動目的・ビジョン：若者とNPOをつないで、まちにたくさんのコミュニケーションとコラボレーションを生み出し、新しい価値を作り出します。
サンタプロジェクト学生チームでは、横浜に笑顔を届けるために学童の子どもたちとともに成長する場を作ります。



URL： <http://actionport-yokohama.org/>



URL： <http://www.facebook.com/actionportyokohama>



URL：



URL：

主な活動スケジュール(実施済・今後の予定すべて含む)

◎月 (※準備期間含める)	◎活動内容	◎活動の背景や思い（活動への思いや参加人数、規模など）
・9月～12月	・「横浜サンタプロジェクト」	<p>・2009年より始まった訪問サンタ、広場サンタ、ドライブサンタ、清掃サンタ、MMサンタから成る「横浜に笑顔をプレゼント」するプロジェクト。 今年はコロナの影響によりSNSを活用したプロジェクトを始動。企業を中心に毎年参加者（サンタ）が増え続けており昨年は700名以上、来場者数は500名以上が参加する活動。 ・学生チームは企業の方々と連携し、企画運営のサポートを行う他、当日は学童の子どもたちとともに社会貢献活動を行います。</p> <p>日時：2020年12月12日（土）14:00-16:00 場所：戸塚学童 内容：サンタの格好で清掃活動を子どもたち・大学生50人と実施する</p>

2020年度行った新たなチャレンジ

- ・会議のオンライン化に着手した。：これまではリアルな会議のみでしたが、会議をオンラインにすることで、企業の方や学生など幅広いメンバーが参加することができ、好評だった
- ・SNSを使ったリアルタイム共有による活動を行った。：コロナで集まれないため、SNSを使って活動状況を共有しながら活動の一体感を出した。

若者と地域コミュニティの役割分担や連携内容

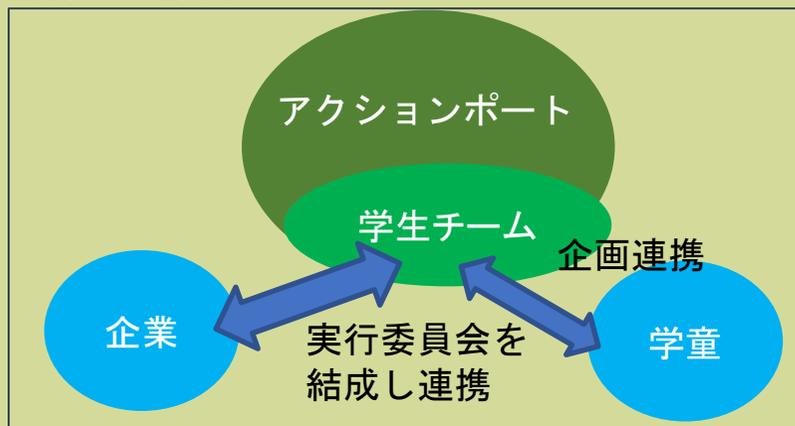
若者：大学生

- ・企画会議の運営
- ・SNS広報
- ・当日の運営

地域コミュニティ：企業

- ・企画会議の協力
- ・イベント会場の貸し出し
- ・協賛、後援金の協力

運営体制や組織図



活動の主な成果（期待する成果）

- ・誰でもサンタになることができ、多くの人にとって地域貢献活動の一步につながる。
- なかなか地域に関わるきっかけを掴むことができない人が多い中で、サンタになって楽しみながら関わることができ、きっかけになっている。この活動をきっかけに地域で活動を始めたり、施設とのつながりを作っていく人も多く、きっかけづくりの成果があると思っている。

団体として今後成長したいこと（展望）

- ・新規賛同企業・団体を増やし、開催規模を広げたい。
- ・広報が弱いので、ツールを広げ、発信力を身につけたい。

団体として困っていること・サポートしてほしいこと

- ・スケジュール管理が苦手
- ・一人ひとりの負担が大き（人手が足りない）
- ・大人の方との会議が苦手

パートナー団体からコメント（企業担当者より）

学生チームの皆さんは新しいことに挑戦しようという気持ちが見られ、常に感心しています。今後もより良いプロジェクトを一緒につくっていただけたらと思います。アワード頑張ってください！

その他伝えたいこと・アワードに対する意気込み等

今年はコロナで開催方法を変更し大変な部分が多くありましたが、自分たちなりにオンラインを活用しながら準備を進めることができました。アワードでは今後の成長のために有識者の方々に運営体制についてアドバイスをいただけたらと思っています。よろしくお願いします。